

アサヒペン

ツヤあり

※ツヤ消し色は落ちついたツヤ消しに仕上がります。

無臭

塗りやすいときは
水
(5%以内)
でうすめて下さい

(社)日本塗料工業会登録
登録番号 A02134
ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆
問合せ先 <http://www.toryo.or.jp>
建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に塗装できます。

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

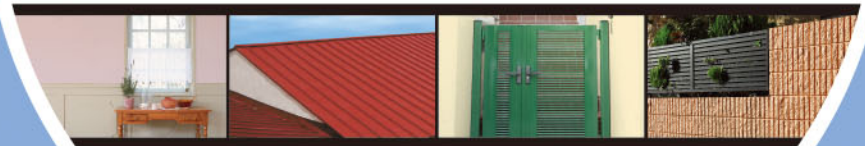
●この容器は、水を加えてかきまぜられるよう、多少大きめにつくってあります。
●表示している色ツヤおよび容器の中の色は、乾いてからの塗料の色と、多少異なることがあります。

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

汚れに強く、高耐久

水性
シリコンアクリル
樹脂配合

多用途カラー



【用途】●カラーベスト・スレート瓦・セメント瓦 ●トタン
●コンクリート・モルタル・ブロックなどの壁やへい
●台所・居間などの壁や天井 ●雨戸・羽目板などの木部
●門扉・フェンスなどの鉄部 ●サイディング
●プラスチック(一部除く)

防カビ剤配合

サビドメ剤配合

1回塗り
0.7L

標準塗り面積
(1回塗り)
5.0~6.6㎡
タタミ3.0~4.0枚分

乾燥時間

夏期 / 30分~1時間

冬期 / 2~3時間

塗り重ね時間の目安

夏期 / 2時間以上

冬期 / 6時間以上

商品名 水性多用途カラー 品名 合成樹脂塗料(水系)
成分 合成樹脂(シリコンアクリル)、顔料(クリアは除く)、
防カビ剤、サビドメ剤、水
特長

●汚れにくく、耐久性が優れた高性能塗料です。
●強力防カビ剤を配合していますので、長期間カビの発生を防ぎます。
●サビドメ剤を配合していますので、サビの発生を防ぎます。
●いやな臭いのしない無臭タイプで、1回塗りで仕上がります。
●厚塗りしてもたれにくく、たいへん塗りやすい塗料です。

用途
●カラーベスト・スレート瓦・セメント瓦・トタン屋根・トタンべい
●コンクリート・ブロック・各種サイディングなどの外壁やへい
●ドア・雨戸・ガーデン用品など屋内外の木部や家具・木製品などの木製品
●フェンス・門扉・鉄柵・看板・おもちゃなどの鉄部、鉄製品
●台所・居間などのしつこい・モルタル・コンクリート・壁・板壁
●発泡スチロール・アクリル・硬質塩ビのプラスチック面
(他のプラスチック面には使用できません)
いぶし瓦・釉薬瓦・モニエル瓦、カベ紙、絶えず水がかかったり、水につかる場所、いつも
濡れているところ、また床面、テラス・カウンターの天面には適しません。

塗装方法
①はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビトリ剤で、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
●壁にあいた穴などは、あらかじめパテなどで補修しておきます。
②塗料が手につく場合は、あらかじめマス킹テープなどでおおいます。
③フック・ハガレ防止のため右の下の処理の注意にしたがって下地処理を行います。
④フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスイオンを差込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
●塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
●夏期、塗装面が高湿となり、乾燥が速すぎて塗りにくい場合はさらに少しうすめて調整します。
⑤コーナーや塗りにくいところは先にすじかきワイヤーで塗ります。
●広い面積の部分はコテバケ・ローラーバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることが出来ます。
●マス킹テープは、塗料が手につかなくなったらはがします。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水か湯で洗って下さい。

応急処置
●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

取扱い上の注意 ①表示の用途以外には使用しないで下さい。②体調が悪い時、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③目に入った皮膚に付着しないよう注意して取扱って下さい。付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。また、誤飲しないよう注意して下さい。④塗装中・乾燥中ともに換気をよくし、その後塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑤塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。⑥塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑦塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないよう時間に塗って下さい。⑧濃い色の上や、凹凸の大きな面に塗る場合や、うすめすぎたり、うすく塗りすぎると、1回塗りでは仕上がらないことがあります。⑨特殊なサイディング、カラーベスト、コーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。⑩コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなる場合があります。⑪塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑫ペイントスプレーヤーを使用する場合は、空打ち状態にならないよう注意して下さい。⑬スレート瓦の重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキやカッターナイフなどで塗膜を縁切りして下さい。⑭塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑮高温になると塗膜がやわらかくなる傾向があります。また塗膜と塗膜・軟質塩化ビニール・レザ等が強い力で重なりあうと、くっつくことがあります。⑯容器は塗料を使い切った後捨てて下さい。⑰やむをえず塗料を捨てる場合は、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑱落下させると中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意 フック・ハガレ防止のため以下の処理をして下さい。①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。②鉄部に直接塗る場合は、充分にサビを落とし、サビドメ塗料を下塗りして下さい。③旧塗膜を剥がして粉が手につく場合や、木質系および無機セメント系のサイディングに塗るときは、必ずアサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透水性水性シーラーを下塗りして下さい。④新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透水性水性シーラーを下塗りして下さい。⑤スレート瓦やセメント瓦に塗る場合は、アサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透水性水性シーラーを下塗りして下さい。ただし劣化の激しい箇所はアサヒペン油性シーラーを下塗りして下さい。⑥トタン屋根に塗る場合は、サビやハガレかかった旧塗膜を落とし、トタンの素地が出てくる場合は本品をひいてから塗って下さい。⑦サビドメ塗料は下塗りしないで下さい。

保管上の注意 ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたづらをしないように注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になると、自動車内などの高温になると、容器がさびやすいところには置かないで下さい。③残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

危険



●遺伝性疾患のおそれ
●水生生物に非常に強い毒性

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
<http://www.asahipen.jp>

お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製

00-1202